

わが家のアイドル



六丁目にお住いの
松浦 加奈さんの

あいく
長女 愛空ちゃん(2歳8か月)

お人形より戦隊ヒーロー
おままごとより戦いごっこが
大好きな愛空です！

みなさんのお宅のアイドルを募集しております。市役所へどしどしお寄せください！



「オリーブのまちを目指す」
下田市地域おこし協力隊

口分田 宙

昨年の12月から地域おこし協力隊として、オリーブのまちづくり部門に携わっている口分田宙と申します。



私は神奈川県に生まれ、高校卒業後にアルバイト、レストランの正社員を経て、多業種を展開するベンチャー企業の正社員として企画や経営、人材管理などを行っていました。そのような折、頼りとしていた社長が若くして亡くなってしまったことをきっかけに退職をしました。

これを契機に、いずれはやってみたいと思っていた農業をやろうと決意しました。

まず長野の小規模農家で露地野菜を中心に一年間勉強をし、次にオリーブという作物に可能性を感じ、下田へとやってきました。

まだ協力隊となってから日も浅いため、本格的な事業の取組はできていませんが、先日実施した苗木配布には多くの方から申込みと質問をいただき、市民の皆さまのオリーブの関心が高いことに非常に驚きました。

私の協力隊としてのゴールには様々な形があると思いますが、オリーブ農家としてこの地に留まることが理想と言えます。しかしながら、現実問題として中山間地域で専業農家として成り立つのは非常に難しく、多角的な創意工夫と少しの運が必要不可欠です。そのためにもまずはより良い品質のオリーブを作るため、日々の観察と迅速適切な対応を継続していくことが必要と考えています。

また、平行して「オリーブ」、
「下田」、「多様な農法」を軸に知識を深めて、その可能性を

模索していきます。いずれは、オリーブを用いた商品を作り、販路開拓し、地消のみならず特産物とすることが今考えている終着点です。

もう一つ、私が継続的に取り組みたいテーマに、無農薬栽培があります。これは販売や商品化する際に大きな武器となるからです。しかしながら、枯れさせないために必要に応じて農薬を用いることもあります。ただその場合も、減農薬を心掛け、可能な限り無農薬に近づけていくというスタンスです。



苗木配布に取り組む口分田さん(右)

今後、下田を「オリーブのまち」にするため、一層の活動に取り組んでいきますので、皆さまのご協力やアドバイスを何卒よろしく願います。

問合せ先

産業振興課産業振興係

☎ 23914